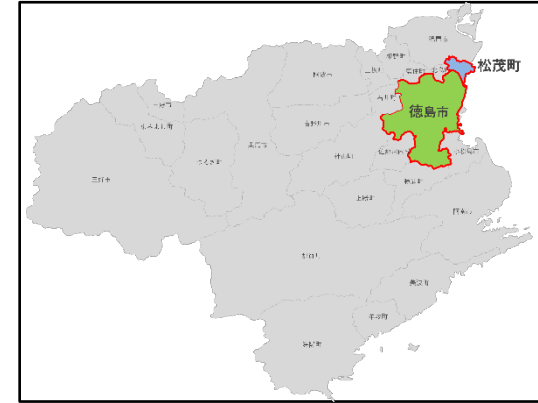


## 連携団体

・徳島市(243,123人)  
・松茂町(14,566人)

## (1) 取組の背景、経緯

- 少子化に伴う園児数の減少と施設の統廃合が進む中、市町村単独では、幼児教育の質の向上に向けて、専門的な知見を有する人材確保・配置が困難な状況にある。また、行政職員(事務職)が幼児教育の専門的な指導助言を担うには限界があり、現場のニーズに即した研修の企画・実施が滞っていた。
- そこで、本事業では、県が広域的な調整や大学との調整役を担い、市町が地域の課題やニーズの把握、現場(園・校)との調整などを担うことで、各自治体の財政的・事務的負担を軽減しつつ、専門的な知見を有する人材の育成や地域の実情に応じた幼児教育施設への支援等に向けた連携方法を検討した。



## (2) 取組の内容

徳島県、徳島市、松茂町の3自治体が、養成大学(鳴門教育大学)と密接に連携し、各自治体の財政的・事務的負担を軽減しつつ、広域で専門的な知見を有する人材の育成・配置や地域の実情に応じた幼児教育施設への支援等の取組を進める可能性の検討。

## (i) 先進事例調査と知見の集約

取組の先進事例を調査し、県市町が連携する中での適用可能性を探る。

## (ii) 合同研修の実施・研修教材の開発

市町合同での研修の実施や市町単独では実施が困難な大学と連携した研修教材コンテンツの作成により、質の高い人材育成を実現する。

## (3) 取組のポイント

## 【実施にあたっての課題】

- ・各市町で、幼児教育に関する取組の進捗状況、重点を置く取組内容等に違いがあり、市町間で足並みを揃えた実施が難しい可能性がある。
- ・園を対象にした研修の共同実施にあたっては、対象園が広域にわたることで、開催日程の調整が難しくなる。また、遠方からの研修会場への参加による、移動負担が生じる可能性がある。

## 【課題に対する解決方法・工夫】

- ・広域連携協議会を設置し、課題の共有や各市町のニーズの把握等を行いながら取組内容の検討を進めるなど、市町の合意形成を図った。
- ・対面時間や移動の制約を受けず、各園の実情に合わせ柔軟に研修を受講できるオンデマンド研修の動画コンテンツも作成し提供することで、受講者の負担軽減も図った。

## 【効果・成果】

1. 各市町で有するリソースを活用することによる研修機会の充実
2. 県や大学との連携・支援のもと、ICTを活用した効率的・効果的な取組の実施(負担の軽減)
3. 他自治体や多様な園の取組(知見)が共有されることによる質の向上

## (4) 今後の展望

市町が地域の実態に応じた広域研修体制を持続的に構築できるよう、徳島県保育・幼児教育センターを中核とした支援(コーディネーターの人材育成・市町の要請に応じたマッチング)の充実を図るとともに、広域連携による市町村の取組の推進や県による市町村の支援について引き続き検討しながら、県内全域での幼児教育の質の向上に繋げていきたい。